

仙台医療圏病院再編に係る宮城県・仙台市の協議(第6回)

協 議 結 果

1 救急医療・周産期医療・災害医療・がん医療

- 周産期医療、災害医療、がん医療については、新病院の機能に関する検討状況も確認しながら引き続き協議
- 病院再編による仙台市内の救急医療への影響・対応について引き続き協議

2 地域への影響（八木山地区跡地利用及び移転後の医療確保）

- 引き続き県において、地域住民、地域の医療関係者との意見交換や情報提供を行いながら、今後の対応について検討していくとともに、協議を継続
- まずは県及び仙台赤十字病院において、同病院を受診している地域住民の属性（診療科、頻度、医療度等）を分析し、不足する医療機能を検討

3 精神医療

- 県が県立精神医療センターの名取市内建替を表明したことに伴い、今後の県市協議においては、協議事項としないこととする
- 身体合併症対応については、仙台市立病院以外の総合病院等も含めた枠組みで、県が中心となって引き続き検討を行う

4 医療需要・必要病床数

- 新たな地域医療構想に関する国のガイドライン等を確認しながら、地域医療構想調整会議の場等で協議

5 その他

- 状況の変化があった場合には必要な協議を行う